

家庭 第2学年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい(時数)	評価の観点 (重み%)	評価規準	主な 評価方法
4 5 6 7	<p>衣生活の自立 (10時間)</p> <p>1. 日常着の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらき ・衣服の構成 ・衣服の入手計画と選び方 <p>2. 日常着の手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れと手入れ ・素材と手入れ ・衣服の洗濯 ・衣服の収納・保管 ・衣服の補修 <p>【ねらい】</p> <p>○目的に応じて衣服の着方が違うことに理解し、衣服の社会生活上のはたらきを考えることができる。</p> <p>○既製服の適切な選択方法を理解することができる。</p> <p>○衣服を快適に着用するために、手入れや補修の技能を身につけることができる。</p> <p>○資源や環境を保護する立場から、自分にできることを具体的に考えることができる。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらきに関心をもち、目的に応じた着用を考えようとするができる。 ・日常着の手入れや補修に関心をもち、取り組もうとするができる。 ・手入れや補修に関心をもち、実習に取り組もうとするができる。 	<p>ワークシート</p> <p>授業態度</p> <p>定期考査</p>
		<p>工夫・創造 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活とのかかわりを考えながら、目的に応じた着方を工夫しようとするができる。 ・自分の衣服の計画や再利用の方法を工夫しようとするができる。 	<p>ワークシート</p> <p>授業態度</p> <p>定期考査</p>
		<p>技能 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方、着方をワークシートにまとめることができる。 ・既製服のサイズ表示を読み取ることができる。 ・採寸して自分の既製服サイズをはかることができる。 ・自分の衣服計画をたてることができる。 	<p>ワークシート</p> <p>授業態度</p> <p>定期考査</p>
		<p>知識・理解 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活をするうえでの衣服のはたらきについてまとめることができる。 ・既製服の表示と選択にあたっての留意事項について理解することができる。 ・布の性質、衣服のよごれの種類とその特徴を説明することができる。 ・洗剤のはたらき、種類、適切な使用量などを説明することができる。 ・手入れや補修の目的と、布に適した方法を説明することができる。 	<p>定期考査</p>
9 10 11 12	<p>わたしたちの衣服製作 (16時間)</p> <p>1. 衣服の構成を知ろう</p> <p>2. 製作の計画をたててみよう</p> <p>3. つくってみよう</p> <p>【ねらい】</p> <p>○身近な衣服を観察し、立体構成と体の関係を理解する。</p> <p>○能率的な製作の手順を考えることができる。</p> <p>○制作費必要な用具の扱いに十分気をつけて、製作することができる。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作のために必要な材料や用具を準備し、基本的な使い方を理解しようとすることができる。 ・ミシンの基本的な操作を理解しようとするができる。 ・自分自身の製作課題をもって、実習に取り組むことができる。 	<p>ワークシート</p> <p>授業態度</p> <p>定期考査</p>
		<p>工夫・創造 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好みに合わせて、布の色やデザインの選び方を工夫することができる。 ・なるべく無駄のない裁断ができるように型紙の配置を工夫することができる。 ・自分らしさを表現するためにデザインを工夫することができる。 	<p>ワークシート</p> <p>授業態度</p> <p>作品</p> <p>定期考査</p>
		<p>技能 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な用具や機械を準備することができ、その基本的な使い方ができる。 ・布に正しく型紙を配置し、製作に必要な部位を裁断することができる。 ・必要な材料や用具、機械を準備し、製作計画に沿って作業を進めることができる。 	<p>ワークシート</p> <p>授業態度</p> <p>作品</p> <p>定期考査</p>
		<p>知識・理解 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・採寸に必要な用具が分かり、各部位の基本的な採寸方法を理解することができる。 ・制作に必要な用具や機械が分かり、基本的な使い方を理解することができる。 ・布に適したミシン糸と針との関係を理解し、縫い方の種類とその方法を理解することができる。 ・製作した物の製作工程を理解することができる。 	<p>ワークシート</p> <p>定期考査</p>

1 2	<p>住生活と自立 (7時間)</p> <p>1. 住まいのはたらきとは何だろう 2. 家族と住まいのかかわりを考えよう 3. 健康で心地よく住むために 4. 安全に住むにはどうしたらよいだろう 5. よりよい住まいと住み方を考えよう</p> <p>【ねらい】 ○住まいや住み方は気候風土や文化によって異なることを理解する。 ○生活行為と住空間の関係を理解することができる。 ○室内環境を整えることの必要性に気づき、具体的な改善策を考えることができる。 ○家庭内事故や震災対策の具体例から安全管理の方法を考えることができる。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p> <p>・室内の安全に関心をもち、家庭内事故防止や自然災害に応じた対策を考えようとすることができる。 ・自分が過ごしている場所でごれているところを見つけ、その清掃方法を調べようとするすることができる。 ・住まいに関心をもち、住まいのはたらきを考えようとするすることができる。 ・家族と住まいのかかわりに関心をもち、いろいろな生活行為と住空間の関係を考えようとするすることができる。 ・シニア体験などを行い、室内の危険な場所の点検に取り組もうとすることができる。</p>	<p>ワークシート 授業態度 定期考査</p>
		<p>工夫・創造 (25%)</p> <p>・家庭内の事故の原因と種類を調べ、いろいろな場所や場面に応じた事故防止の工夫をすることができる。 ・高齢者や幼児などが安全にくらすための工夫を考えている。 ・気候風土に合わせた住まいの工夫について考えることができる。 ・家族のくらし方を考慮し、家族にふさわしい住空間の工夫について考えることができる。</p>	<p>ワークシート 授業態度 定期考査</p>
		<p>技能 (25%)</p> <p>・家庭内の事故防止の方法や安全な住み方の工夫に必要な基礎的な技能を身につけることができる。 ・高齢者や幼児などが安全にくらすために必要な条件や、住まいの工夫を調べることができる。</p>	<p>ワークシート 授業態度 定期考査</p>
		<p>知識・理解 (25%)</p> <p>・住まいの基本的な機能について理解することができる。 ・日本各地の住まいの特徴について理解することができる。 ・日本各地の住まいの特徴について理解することができる。 ・家族と住まいのかかわりや住空間と生活行為、住空間に必要な条件を理解することができる。 ・安全な室内環境の整備に必要な基礎的な知識を身につけることができる。 ・高齢者や幼児などが安全にくらすために必要な条件や家の工夫点を理解することができる。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>
3	<p>食生活と自立 (2時間)</p> <p>・日本各地の郷土料理</p>	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p> <p>食品や調理用具等の安全と衛生に配慮し、調理実習で実践しようとしている。</p>	<p>ワークシート 授業態度</p>
		<p>工夫・創造 (25%)</p> <p>調理に必要な手順や時間を考えて計画している。</p>	<p>ワークシート 授業態度</p>
		<p>技能 (25%)</p> <p>・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。 ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。</p>	<p>ワークシート 授業態度</p>
		<p>知識・理解 (25%)</p> <p>・食品や調理用具の安全と衛生に注意した取り扱い方について理解している。 ・郷土料理について理解している。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>